

経済学部A方式Ⅰ日程・社会学部A方式Ⅰ日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

〈注意事項〉

1. 問題冊子・解答用紙では試験科目名を以下のとおり表記している。

科 目 名	表 記	ページ	科 目 名	表 記	ページ
公共, 政治・経済	政治・経済	2～21	歴史総合, 日本史探究	日 本 史	22～38
歴史総合, 世界史探究	世 界 史	40～55	地理総合, 地理探究	地 理	56～65
数学Ⅰ・Ⅱ, 数学A・B・C	数 学	66～71			

2. 試験開始の合図があるまで, 問題冊子を開かないこと。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 科目の選択は, 受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
5. **数学**は以下の注意事項に従うこと。
- ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に, 上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・その他, 解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規, コンパス, 電卓の使用は認めない。
6. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では, 鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シャープペンシルなどを使用しないこと)。

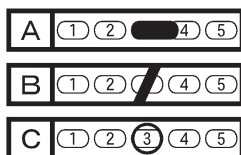
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は, 消しゴムでよく消してから, あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

7. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔 I 〕 次の史料A～Cを読み、以下の問いに答えよ。

A (寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり。^(a)〈前太政大臣の第三の娘なり、一家三后を立つること、未だ曾て有らず。〉……^(b)太閤、下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや」。又云ふ、「誇りたる歌になむ有る。但し宿構に非ず」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し、満座只此の御歌を誦すべし。……」と。

(『小右記』, 原漢文)

問1 下線部(a)のとき摂政だった人物を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 藤原基経 | イ 藤原忠平 | ウ 藤原道長 |
| エ 藤原頼通 | オ 藤原良房 | |

問2 下線部(a)に関連して、藤原威子が后となった天皇を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| ア 後三条天皇 | イ 醍醐天皇 | ウ 宇多天皇 |
| エ 後冷泉天皇 | オ 後一条天皇 | |

問3 下線部(b)が、朝廷で権勢をふるうようになる前に起こった次の出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- Ⅰ 源高明が謀反の嫌疑をかけられ失脚した。
- Ⅱ 伴健岑、橘逸勢が謀反を企てたかどで流罪となった。
- Ⅲ 源^{みなもとのまこと}信の失脚をねらった伴善男が流罪となった。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| ア | Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | イ | Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ウ | Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| エ | Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | オ | Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | カ | Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

問4 摂関家が中心となって行った摂関政治において、国政の重要事項の審議にあたった公卿による会議の名称として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 公議 イ 参議 ウ 寄合 エ 評定 オ 陣定

日本史

問5 平安時代初期の弘仁・貞観文化または摂関期を中心とする10～11世紀頃の国風文化について述べた以下の(1)～(3)の各文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の解答群ア～エからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[解答群]

ア	X	正	Y	正	イ	X	正	Y	誤
ウ	X	誤	Y	正	エ	X	誤	Y	誤

- (1) X 『凌雲集』や『文華秀麗集』などの勅撰漢詩集が編まれた。
Y 最澄の弟子だった源信^{げんしん}によって天台宗の密教化がすすめられた。
- (2) X 紀貫之らによって最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編纂された。
Y 怨霊や疫神を慰めるため、御霊会がさかんにもよおされた。
- (3) X 一条天皇の皇后定子に仕えた紫式部が『源氏物語』を著した。
Y 一条天皇の中宮彰子に仕えた清少納言が『枕草子』を著した。

B 禪定法王は、……後三条院^(c)崩後^(d)、天下の政をとること五十七年、……意に任せ、法に拘らず、除目・叙位を行ひ給ふ。古今未だあらず。……威四海に満ち天下帰服す、幼主三代の政をとり、斎王六人の親となる、桓武より以来、絶えて例なし。聖明の君、長久の主と謂ふべきなり。但し理非決断、賞罰分明、愛悪掲焉にして、貧富は顕然なり。男女の殊寵多きにより、已に天下の品秩破るゝなり。

(『中右記』，原漢文)

問6 下線部(c)が行った事柄として正しいものを、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 受領出身の財力のある中下級貴族を重用した。
- イ 源氏や平氏の武士を側近として登用した。
- ウ 京の治安維持のために検非違使を設けた。
- エ 武装した僧侶を僧兵として組織した。
- オ 法勝寺を造立した。

問7 下線部(c)が院政を行ったときの天皇を、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---------|--------|
| ア 鳥羽天皇 | イ 後鳥羽天皇 | ウ 堀河天皇 |
| エ 二条天皇 | オ 嵯峨天皇 | |

問8 下線部(c)が院政を行う前に起こった次の出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- Ⅰ 前伊予掾・藤原純友が乱を起こしたが、源経基らによって討たれた。
- Ⅱ 陸奥の安倍氏が反乱を起こすと、源頼義・義家親子がこれを平定した。
- Ⅲ 上総で平忠常が反乱を起こすと、源頼信がこれを鎮めた。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | イ Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ウ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| エ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | オ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | カ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

日本史

問9 下線部(d)が行った施策として正しいものを、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大江匡房を登用した。
- イ 記録荘園券契所を設け、基準にあわない荘園を整理した。
- ウ 地方行政の権限を受領に集中させた。
- エ 班田の期間を12年に1回とした。
- オ 宣旨枿を制定した。

問10 院政期の文化について述べた以下の(1)～(3)の各文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の解答群ア～エからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[解答群]

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | X | 正 | Y | 正 | イ | X | 正 | Y | 誤 |
| ウ | X | 誤 | Y | 正 | エ | X | 誤 | Y | 誤 |

- (1) X 阿弥陀仏を信仰対象とする浄土教の思想が、聖や上人などの布教者によって地方にも広がった。
Y 地方豪族が建立した阿弥陀堂に陸奥の富貴寺大堂がある。
- (2) X 田楽や猿楽が貴族のあいだでも流行した。
Y 民間の流行歌謡である今様などを集成した『梁塵秘抄』が編まれた。
- (3) X 『今鏡』や『増鏡』などの歴史物語が著された。
Y 日本のほか中国や朝鮮の説話を集めた『今昔物語集』が編まれた。

C 六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も栄耀も面をむかへ肩をなら
(e)ぶる人なし。されば入道相国のこじうと平大納言時忠卿ののたまひけるは、
「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」とぞのたまひける。かゝりしかば、
いかなる人も相構えて其ゆかりにむすぼゝれむとぞしける。……
(『平家物語』)

問11 下線部(e)が保元の乱の際に加担した天皇家・摂関家それぞれの人物の組み
合わせとして正しいものを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄
にマークせよ。

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| ア 崇徳上皇 | － 藤原忠通 | イ 後白河天皇 | － 藤原忠通 |
| ウ 崇徳上皇 | － 藤原成親 | エ 後白河天皇 | － 藤原成親 |
| オ 崇徳上皇 | － 藤原頼長 | カ 後白河天皇 | － 藤原頼長 |

問12 下線部(e)が平治の乱の際に対立した人物として正しいものを、以下のア～
カから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|------------|--------|-------|
| ア 藤原通憲(信西) | イ 藤原信頼 | ウ 源義朝 |
| エ 源為義 | オ 平忠正 | カ 平重盛 |

問13 下線部(e)の娘徳子が中宮となった天皇を、以下のア～オから一つ選び、そ
の記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|---------|--------|
| ア 村上天皇 | イ 安徳天皇 | ウ 光厳天皇 |
| エ 高倉天皇 | オ 後朱雀天皇 | |

問14 下線部(e)が力を注いだ日宋貿易で、日本に輸入された品として正しいもの
を、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|-----|
| ア 刀剣 | イ 銅銭 | ウ 硫黄 | エ 香料 | オ 金 |
|------|------|------|------|-----|

日本史

問15 下線部(e)に関連した事柄や平氏を題材にした文学について述べた以下の(1)～(3)の各文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の解答群ア～エからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[解答群]

ア	X	正	Y	正	イ	X	正	Y	誤
ウ	X	誤	Y	正	エ	X	誤	Y	誤

- (1) X 下線部(e)は、1167年に太政大臣になった。
Y 下線部(e)は、播磨の大輪田泊を修築した。
- (2) X 下線部(e)は、安芸の厳島神社を平家一門の氏神とした。
Y 厳島神社には、下線部(e)の一生を追憶した『栄花(華)物語』が伝わっている。
- (3) X 平氏の興亡を描いた軍記物として『太平記』がある。
Y 『平家物語』は、琵琶法師によって平曲として語られた。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

16世紀末からの織豊政権^(a)の時代を中心とする桃山文化は、新興の大名や豪商の財力を反映した豪華さや壮大さが一つの特色である。これは、天守を中心として、巨大な石垣や幾重もの堀が築かれた城郭建築に象徴されている。この城郭には、書院造の御殿が建てられ、金箔などのうえに緑青や朱などの色彩を用いた

(1) や、水墨画と大和絵を融合させた桃山様式^(b)による障壁画が描かれた。

17世紀前半になると、建築では、日光東照宮に見られる豪華な装飾がほどこされた^(c) (2) が広く用いられる一方で、桂離宮に代表される簡素で気品のある

(3) も用いられた。また、文禄の役・慶長の役^(d)の際に、朝鮮人陶工ら連れ帰ったことにより、九州・中国地方の各地で陶磁器生産が始まった^(e)。

17世紀後半になると、政治の安定と経済の発展を背景として、一般の町人や有力な農民に至るまでもが文化の担い手になっていく。上方の町人文芸の担い手としては、(4) の代表的作品である『好色一代男』を書いた井原西鶴、蕉風俳諧を確立した松尾芭蕉、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた^(g)近松門左衛門が代表としてあげられる。また、江戸時代初期に女歌舞伎が風俗取り締まりにより禁止されてから、男性による歌舞伎が定着し、江戸・上方に芝居小屋が常設され演劇として発展した。絵画では、住吉如慶と具慶による住吉派が幕府の御用絵師として、狩野派とともに活躍した。京都では^(h)尾形光琳が琳派を打ちたて、江戸では菱川師宣がはじめた (5) が、庶民に広く普及した。また、陶芸では色絵の技法を完成した⁽ⁱ⁾京焼がつくられた。このように、鎖国政策^(j)のもと、日本独自の文化が成熟していった。

18世紀半ばになると、出版物や貸本屋が普及し、民衆にも情報や文化が幅広く^(k)流通するようになった。世相を風刺した絵入りの黄表紙や遊里を描く洒落本が人気を集めたが、寛政の改革の出版統制令^(l)によって厳しい取り締まりがなされた。

このような中、俳諧では、与謝蕪村が写実的な句をよんだ。絵画では、鈴木春信が (6) を完成させ、円山応挙は立体感のある写実的な作品を描いた。またこの頃には、蘭学の流行に伴い、西洋画が広がり、司馬江漢による銅版画や、^(m)秋田蘭画が始められた。

日本史

19世紀に入り文化・文政期を中心として、町人文化が爛熟期を迎える。式亭三馬や十返舎一九などによる滑稽本や、柳亭種彦による合巻、為永春水による人情本、曲亭馬琴による読本などが、木版印刷技術の向上を背景にして、都市のみならず農村にも広く流通し庶民に受け入れられた。

問1 空欄 ～ にあてはまる語句としてもっとも適切なものを、以下のア～ソからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ア 禅画 | イ 権現造 | ウ 濃絵 |
| エ 浮世絵版画 | オ 来迎図 | カ 寄木造 |
| キ 御伽草子 | ク 浮世草子 | ケ 錦絵 |
| コ 寝殿造 | サ 蒔絵 | シ 仮名草子 |
| ス 似絵 | セ 数寄屋造 | ソ 一木造 |

問2 下線部(a)の時代にあった次のⅠ～Ⅲの戦いについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- Ⅰ 賤ヶ岳の戦い
- Ⅱ 小牧・長久手の戦い
- Ⅲ 長篠の戦い

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | イ Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ウ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| エ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | オ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | カ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

問3 下線部(b)に関連して、『唐獅子図屏風』を描いた人物として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 狩野芳崖 | イ 狩野正信 | ウ 狩野探幽 |
| エ 狩野永徳 | オ 狩野元信 | |

問4 下線部(c)の1623年に将軍となった人物を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 徳川家慶 | イ 徳川家重 | ウ 徳川家斉 |
| エ 徳川家光 | オ 徳川家定 | |

問5 下線部(d)に関する説明として誤っているものを、以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 豊臣秀吉は出兵の根拠地として筑前に名護屋城を築いた。
- イ 豊臣秀吉は小西行長・加藤清正を先鋒として朝鮮に大軍を送り込んだ。
- ウ 日本軍は朝鮮の都である漢城を落とした。
- エ 李参平の率いる水軍と明からの援軍により日本軍は苦戦を強いられた。
- オ 小西行長が休戦して独自に講和交渉を進めた。

問6 下線部(e)に関連して、陶磁器とそれが生産された地域を支配していた大名家の組み合わせとして正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|-------|---|-----|-------|---|-----|
| ア 有田焼 | － | 鍋島氏 | イ 薩摩焼 | － | 黒田氏 |
| ウ 萩焼 | － | 松浦氏 | エ 平戸焼 | － | 島津氏 |
| オ 高取焼 | － | 細川氏 | | | |

日本史

問7 下線部(f)の徳川綱吉の治世下における政策に関する説明として**誤っている**ものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合は、オをマークせよ。

- ア 湯島聖堂を建てた。
- イ 金の含有率を減らした元禄小判を発行した。
- ウ 町火消を組織させた。
- エ 服忌令を出した。

問8 下線部(g)の作品として正しいものを、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『冥途の飛脚』 イ 『風姿花伝』 ウ 『曾根崎心中』
- エ 『心中天網島』 オ 『国性(姓)爺合戦』

問9 下線部(h)の作品として正しいものを、以下のア～オから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『見返り美人図』 イ 『紅白梅図屏風』 ウ 『風神雷神図屏風』
- エ 『燕子花図屏風』 オ 『山水図屏風』

問10 下線部(i)の祖といわれている人物として正しいものを、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 土佐光起 イ 尾形乾山 ウ 宮崎友禅
- エ 野々村仁清 オ 鈴木牧之

問11 下線部(j)について述べた文として**誤っているもの**を，以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合は，カをマークせよ。

- ア 1616年に中国船以外の外国船の寄港地を平戸と長崎に限定した。
- イ 1633年に奉書船以外の日本船の海外渡航を禁じた。
- ウ 1635年にすべての日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を禁止した。
- エ 1639年にポルトガル船の来航を禁じた。
- オ 1641年に平戸のオランダ商館を長崎の出島に移した。

問12 下線部(k)の1758年に竹内式部と復古派の公家衆が処分された事件として正しいものを，以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 宝暦事件 イ 福島事件 ウ 明和事件
- エ 赤穂事件 オ 秩父事件

問13 下線部(l)によって処罰された人物として正しいものを，以下のア～オから**すべて**選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 林子平 イ 山東京伝 ウ 柴野栗山
- エ 恋川春町 オ 岡田寒泉

問14 下線部(m)を創始した人物として正しいものを，以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 池大雅 イ 田能村竹田 ウ 海北友松
- エ 亜欧堂田善 オ 小田野直武

問15 下線部(n)の人物のうち，天保の改革によって処罰された作家として正しいものを，以下のア～オから**すべて**選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 式亭三馬 イ 十返舎一九 ウ 柳亭種彦
- エ 為永春水 オ 曲亭馬琴

日本史

〔Ⅲ〕 次の文A～Hを読み、以下の問いに答えよ。

- A 1868年、神仏分離令が出された。
- B 1869年、各藩により朝廷への版籍奉還が行われた。
- C 1871年、廃藩置県が行われた。
- D 1873年、キリスト教禁止の高札が撤去された。
- E 1879年、沖縄県が設置され、琉球王国が消滅した。
- F 1885年、『小説神髓』が発表された。
- G 1886年、北海道庁が設けられた。
- H 1893年、『文学界』が創刊された。

問1 Aと同じ年に起こった出来事を、以下のア～オから**二つ**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 鳥羽・伏見の戦いが起こった。
- イ 新貨条例が公布され、円・銭・厘を単位とする新硬貨がつくられた。
- ウ 工部省が設置された。
- エ 右大臣岩倉具視を大使とする使節団がアメリカ・ヨーロッパに派遣された。
- オ 年号が明治と改められた。

問2 Bに関連して、版籍奉還を最初に出願した四藩を、以下のア～シから**すべて**選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア 会津藩 | イ 越前藩 | ウ 川越藩 | エ 紀伊藩 | オ 桑名藩 |
| カ 薩摩藩 | キ 長州藩 | ク 土佐藩 | ケ 長岡藩 | コ 彦根藩 |
| サ 肥前藩 | シ 水戸藩 | | | |

問3 Bに関連して、版籍奉還の際に、政体書による太政官制が改められた。この時の中央官制の説明として正しいものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合は、オをマークせよ。

- ア 国家権力を太政官に集め、これに三権分立制を取り入れた。
- イ 神祇官のもとに太政官をおいた。
- ウ 太政官を正院・左院・右院の三院制とした。
- エ 太政官のもとに6省をおいた。

問4 Cに関連して、廃藩置県について述べた文として誤っているものを、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合は、オをマークせよ。

- ア 廃藩置県により、知藩事は罷免されて東京居住を命じられた。
- イ 廃藩置県により、すべての藩は廃止された。
- ウ 廃藩置県により、中央政府が派遣する府知事・県令が地方行政にあたった。
- エ 新政府は三つの藩から御親兵をつのって軍事力を固めたうえで、廃藩置県を断行した。

問5 Dに関連して、「キリスト教禁止の高札」は、五榜の掲示のうちの一つである。五榜の掲示について述べた文として正しいものを、以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この掲示は、五箇条の誓文公布の翌日、全国の民衆に向けて掲げられた。
- イ この掲示では、君臣・父子・夫婦間の儒教的道徳が説かれた。
- ウ この掲示は、天皇が神々に誓約する形式をとった。
- エ この掲示では、政治は公議世論によって行うべきとされた。
- オ この掲示は、旧幕府の民衆に対する政策を引き継いだ。

日本史

問6 Dと同年，地租改正条例が定められた。この条例に関する説明として誤っているものを，以下のア～エから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。
すべて正しい場合は，オをマークせよ。

- ア 課税対象を収穫高から地価に変更した。
- イ 納税方法を物納から金納に変更した。
- ウ 土地所有者に金禄公債証書を与えて納税者とした。
- エ 地租改正に反対する一揆が各地で起きた。

問7 Eに先立ち，政府が台湾に出兵したのは，どの時期か。以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア Cより前 イ Cと同年 ウ CとDの間
- エ Dと同年 オ DとEの間

問8 Fの『小説神髓』の著者を，以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 泉鏡花 イ 国木田独歩 ウ 田山花袋
- エ 坪内逍遙 オ 三宅雪嶺

問9 Fに関連して，写実主義を掲げながらも文芸小説の大衆化を進めた尾崎紅葉らによる結社を，以下のア～オから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 硯友社 イ 玄洋社 ウ 政教社 エ 平民社 オ 民友社

問10 Fと同年，日本と清の間で天津条約が締結された。この条約に関連して述べた文として正しいものを，以下のア～オから**すべて**選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この条約により，日清両国は朝鮮から撤兵した。
- イ 山県有朋が全権大使として天津におもむいた。
- ウ この条約により，朝鮮に出兵する場合，たがいに事前通告をすることとなった。
- エ この条約を結んだ時の清の全権は金玉均である。
- オ この条約の締結後に甲申事変が起きた。

問11 Gに関連して，明治初期の北海道について述べた以下の文ア～エについて，古いものから年代順に配列したとき，**二番目と三番目にくるものをそれぞれ一つ**選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 屯田兵制度が設けられた。
- イ 北海道旧土人保護法が制定された。
- ウ 札幌農学校が開校した。
- エ 蝦夷地を北海道と改称して開拓使がおかれた。

問12 Gの3年後，大日本帝国憲法が発布された。大日本帝国憲法の内容について**誤っているものを**，以下のア～オから**二つ**選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 天皇は陸海軍を統帥するとされた。
- イ 宣戦・講和や条約の締結は天皇の権限とされた。
- ウ 日本臣民には法律の範囲内で集会や結社の自由が認められた。
- エ 議会は，貴族院，衆議院，参議院の三院で成立するとされた。
- オ 枢密院は立法をつかさどる議会の一機関とされた。

日本史

問13 大日本帝国憲法では信教の自由が認められたが、国家主義の風潮が高まるとキリスト教は学校教育から排除されることもあった。1891年に教育勅語に拝礼しなかったとして教壇を追われた人物を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| ア 植村正久 | イ 内村鑑三 | ウ 海老名弾正 |
| エ 賀川豊彦 | オ 片山潜 | |

問14 Hの雑誌が拠点となり、ロマン主義文学が広がった。ロマン主義の影響を受けた著者と、その作品の組み合わせとして誤っているものを、以下のア～オからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|---------|-----------|
| ア 島崎藤村 | － 『若菜集』 |
| イ 樋口一葉 | － 『たけくらべ』 |
| ウ 森鷗外 | － 『蒲団』 |
| エ 与謝野晶子 | － 『みだれ髪』 |
| オ 北村透谷 | － 『浮雲』 |

問15 Hの『文学界』創刊後の出来事を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|---|---------------------------|
| ア | えた・非人などの称号を廃止する解放令が布告された。 |
| イ | 市制・町村制が制定された。 |
| ウ | 大教宣府の詔が出された。 |
| エ | 地方三新法が制定された。 |
| オ | 黒田清輝が白馬会を創立した。 |

(白 紙)